

## 平成 29 年度 習志野市公営企業運営協議会第 2 回会議 会議録

1	会 議 名	平成 29 年度 習志野市公営企業運営協議会第 2 回会議																																	
2	開 催 日 時	平成 29 年 8 月 28 日 (月) 午前 10 時 30 分																																	
3	開 催 場 所	習志野市企業局 新館 3 階 D E 会議室																																	
4	出席者氏名	<p>出席委員</p> <p>伊東 弘樹 香取 裕子 佐々木 光世 鈴木 とし江 田久保 直子 田尻 正代 右島 信幸 (議長) 三代川 浩一 森 英樹</p> <p>出席職員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">企業管理者</td> <td style="width: 33%;">若林 一敏</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>業務部長</td> <td>市瀬 秀光</td> <td>工務部長 秋谷 修</td> </tr> <tr> <td>業務部次長</td> <td>市原 秀一</td> <td>工務部次長 真田 知幸</td> </tr> <tr> <td>営業企画室長</td> <td>江口 禎治</td> <td>総務課長 大山 勝巳</td> </tr> <tr> <td>経理課長</td> <td>渡辺 裕之</td> <td>料金課長 吉橋 敏夫</td> </tr> <tr> <td>営業企画室副室長</td> <td>森下 雅之</td> <td>営業企画室副室長 福田 淳</td> </tr> <tr> <td>工務管理課長</td> <td>大橋 高士</td> <td>建設課長 川嶋 一挙</td> </tr> <tr> <td>供給課長</td> <td>中村 充宗</td> <td>保安課長 三橋 尚和</td> </tr> <tr> <td>業務部主幹</td> <td>吉川 充定</td> <td>業務部主幹 板倉 尚子</td> </tr> <tr> <td>工務部主幹</td> <td>御山 俊行</td> <td>工務部主幹 丸山 善也</td> </tr> <tr> <td>工務部主幹</td> <td>盛 康二</td> <td></td> </tr> </table>	企業管理者	若林 一敏		業務部長	市瀬 秀光	工務部長 秋谷 修	業務部次長	市原 秀一	工務部次長 真田 知幸	営業企画室長	江口 禎治	総務課長 大山 勝巳	経理課長	渡辺 裕之	料金課長 吉橋 敏夫	営業企画室副室長	森下 雅之	営業企画室副室長 福田 淳	工務管理課長	大橋 高士	建設課長 川嶋 一挙	供給課長	中村 充宗	保安課長 三橋 尚和	業務部主幹	吉川 充定	業務部主幹 板倉 尚子	工務部主幹	御山 俊行	工務部主幹 丸山 善也	工務部主幹	盛 康二	
企業管理者	若林 一敏																																		
業務部長	市瀬 秀光	工務部長 秋谷 修																																	
業務部次長	市原 秀一	工務部次長 真田 知幸																																	
営業企画室長	江口 禎治	総務課長 大山 勝巳																																	
経理課長	渡辺 裕之	料金課長 吉橋 敏夫																																	
営業企画室副室長	森下 雅之	営業企画室副室長 福田 淳																																	
工務管理課長	大橋 高士	建設課長 川嶋 一挙																																	
供給課長	中村 充宗	保安課長 三橋 尚和																																	
業務部主幹	吉川 充定	業務部主幹 板倉 尚子																																	
工務部主幹	御山 俊行	工務部主幹 丸山 善也																																	
工務部主幹	盛 康二																																		
5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p><b>議題「平成 28 年度習志野市公営企業会計決算概要 (案) について」</b> <b>経理課 渡辺課長より説明</b></p> <p>1. ガス事業について</p> <p>(1) ガス事業の概要</p> <p>平成 28 年度末お客様 (メーター) 件数 77,945 件 お客様 (メーター) 増加件数 874 件 ガス販売量 61,423 千 m<sup>3</sup> 平成 28 年度末ガス本支管総延長数 441,888m ガス本支管布設延長数 7,986m ガス原料購入量 62,102 千 m<sup>3</sup> (東京ガス 73.1%・関東天然瓦斯開発 26.9%)</p> <p>(2) 収支の概要</p> <p>事業収益 5,669,507 千円 事業費用 5,325,623 千円 当年度純利益 (事業収益－事業費用) 343,884 千円</p> <p>[内訳]</p> <p>営業収支 223,644 千円</p>																																	

営業雑収支 24,382 千円  
営業外収支 95,962 千円  
特別損益 △104 千円

(3) 剰余金の処分案

当年度純利益 343,884 千円  
利益剰余金変動額 307,289 千円  
当年度未処分利益剰余金 651,173 千円  
※利益剰余金処分額  
①減債積立金 94,509 千円  
②建設改良積立金 99,375 千円  
③価格変動準備金 150,000 千円  
④資本金への組入 307,289 千円

2. 水道事業について

(1) 水道事業の概要

平成 28 年度末お客様（メーター）件数 56,688 件  
お客様（メーター）増加件数 407 件  
水道販売（給水）量 11,498 千<sup>3</sup>m  
平成 28 年度末水道本支管総延長数 313,576m  
水道本支管布設延長数 3,861m  
水源からの取水量 12,497 千<sup>3</sup>m  
(北千葉広域水道企業団 34.9%・地下水 65.1%)

(2) 収支の概要

事業収益 2,243,906 千円  
事業費用 1,840,063 千円  
当年度純利益（事業収益－事業費用） 403,843 千円

[内訳]

営業収支 △83,806 千円  
営業外収支 489,398 千円  
特別損失 △1,749 千円

(3) 剰余金の処分案

当年度純利益 403,843 千円  
当年度未処分利益剰余金 403,843 千円  
※利益剰余金処分額  
①減債積立金 230,000 千円  
②建設改良積立金 173,843 千円

ガス・水道事業について 説明終了後、質疑応答

(森委員)

原価のところでお伺いします。ガスにおいては件数が増えているのですが、購入数量や販売量は下がっています。省エネとか環境への配慮なども影響していると思われませんが、原価率に関して、昨年対比で4.55%ほど下がっており、金額にしますと2億2,500万円ほどになると思います。昨年度の純利益は3億4,388万4千円ということで、利益の中のかなりの割合が粗利のところの影響したように見えますが、ここまで原価率が変わることに関して、何か原因を研究・分析されたことがあるのでしょうか。

(江口営業企画室長)

年度別決算の粗利割合変動の一番大きな要因としましては、購入するガスと小売するガスの価格について、原料価格に合わせた変動をさせていただきたく制度の中で、ガスの販売価格につきましては、国の統計価格が出た後にお客様への周知期間をおいて適用するため、購入するガスの価格との間に差が出ます。

1年間という決算期間で切らなければ、多少ずれながらも同様に動きまでするので粗利について影響は生じません。

原料価格が下がり基調の場合には、お客様への販売価格は、周知期間のずれがあるために、若干遡った高い価格を適用させていただきますが、原料価格はずれが短く、比較的安いところでお支払いします。値上がり基調の場合は逆の状況になります。このように価格の適用時期にずれが生じるため、決算として1年間で切った場合は影響が生じますことから、これが粗利額の変動の主な要因となっております。

(森委員)

今は上がり基調に見えますが、仕入れ価格が先に上がって行って売上価格が後から追いついてくるような形になるので、今期に関しては、その分利益額は下がっていくという見方でよろしいでしょうか。

(江口営業企画室長)

ご指摘のとおりでございます。

(森委員)

県内産ガスと外国産ガス共に影響を受けるのでしょうか。

(江口営業企画室長)

結論的には共に影響を受けております。ただし若干異なりますのが、県内産天然ガスは、井戸から汲み上げたベースの部分については原料費調整制度の対象外で、増熱用の液化石油ガスの部分のみに適用されます。外国

産天然ガスは、ほぼ 100%が原料費調整制度の対象になります。価格の動きを簡単に申し上げますと、外国産の天然ガスの上がり下がりが発生した場合に、県内産はそれと比較しますと緩い価格変動になります。

(森委員)

今回の場合ですと、外国産ガスの購入量が増えていて、県内産ガスが昨年よりも下がっているのので、今度値上がり傾向にある時には逆にすれば、ある程度の利益率は取れるのでしょうか。

(江口営業企画室長)

基本的に、値上がり傾向の時に県内産の割合が多い方が、お客様への販売価格の値上がり、あるいは企業局の購入ガス費の上昇が少なく済む傾向になります。現実的には決算の区切れる時期で影響を受けますが、原料費調整制度自体は中立的に動くような制度設計になっております

(森委員)

なかなか他の事業費を下げていくことは難しいかと思えますし、メーター数が増えている中でこういう状況ですので、将来的な人口減少やメーター一件数が増えない状況も考えられる中で、ガス販売価格も勝手に決められないので難しいところだとは思いますが、いろいろバランスも考えていかなければならないのかなと思いましたので、検討のほどよろしくお願ひしたいと思えます。

(鈴木委員)

ガスが 874 件増えて水道が 407 件増えています。家を建てたらガスよりも水道の方が多くなるかなと思ったのですが、何かあるのでしょうか。

(江口営業企画室長)

メーター数の増減の差につきましては、ガスは習志野市全域と一部船橋市に供給しておりますが、水道は習志野市内の JR の線路を境に陸側が企業局の市営水道、海側が県営水道となっており、ガスの供給区域と違いがあるため、そこで一番大きな差が出てまいります。

#### 報告事項

**第 48 回ガスフェスタ開催について 営業企画室 森下副室長より説明**

本年度も第 48 回ガスフェスタといたしまして、11 月 11 日（土曜日）および 12 日（日曜日）、午前 10 時から午後 4 時まで、昨年同様に袖ヶ浦体育館で開催する予定でございます。同時開催として、農業祭・健康フェ

		<p>アと同じ場所となっております。</p> <p>昨年度の入場者数は、2日間で7,125名になっており、本年度は8,000人の目標を立てております。</p> <p>委員の皆様におかれましてはご家族やお知り合いの方などとお誘い合わせの上、ご来場いただきたくお待ち申し上げます。</p> <p><b>第48回ガスフェスタ開催について 説明終了後、質疑応答</b></p> <p>(三代川委員)</p> <p>毎年動線に問題があり、企業局・農協・市役所と一緒にやっているんですけども、もう少し一体感があつた方がと思いますし、寂しいところがあると思います。動線の調整・変更について、いろいろお考えになっているようですので、ご説明いただければと思います。</p> <p>(吉川業務部主幹)</p> <p>今、全体会議を市と開いているところです。現時点では、企業局がガスフェスタを開催する袖ヶ浦体育館の前に農業祭を移動し、そちら側へ人が来るような形で動線をなるべく近づけます。それに伴い、今まで企業局で体育館の前にフワフワを出していましたが、これをグラウンド側へ持っていくことを考えています。今後変わるかもしれませんが、消防も含めて一緒にやっていますので、なるべくそれぞれを近づけてやっていこうと考えております。</p> <p>(三代川委員)</p> <p>三者が一体となって、より一層盛り上げてもらいたいと思います。</p> <p><b>平成29年度水道管洗浄作業報告について 工務部 盛主幹より説明</b></p> <p>6月、7月に実施しました水道管洗浄作業の報告をさせていただきます。今年度は、毎年実施している3回から6回に拡大し強化を図りました。</p> <p>また、前回に引き続き習志野市消防団の皆様にご協力いただき共同で作業を実施し、事故等なく無事に終了いたしました。来年度も濁り水を予防するため、引き続き水道管洗浄作業を実施してまいります。</p>
6	お問合せ先	<p>所管課名：習志野市企業局 業務部総務課</p> <p>電話番号：047-475-3321</p>